

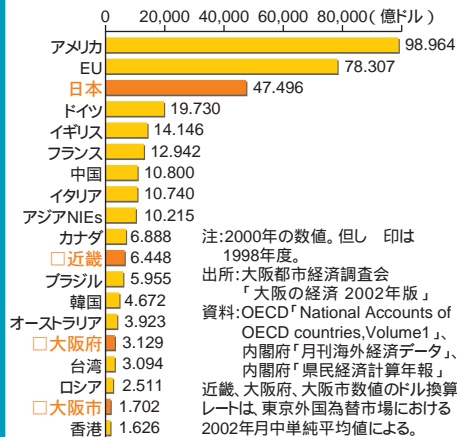
ピーブレッツ流 経済ニュースの「？」がわかる！

# ミズモトの数字で見る経済

第22回 — 一国に匹敵する経済規模を持つ都市 — 「世界の中の都市大阪」という視点で考える

## 「香港とロシアの間」：大阪市の市内総生産

各国の国内総生産(名目)



日本のGDP(国内総生産)は、アメリカ、EUに次ぐ規模ですが、例えば大阪市や大阪府、近畿地方をこうした各国のランキングにあてはめるとどうなると思われますか？ 近畿地方はカナダの次、大阪府はオーストラリアの次、大阪市はロシアの次に来ます。大阪府がロシアに匹敵する経済規模を持つということは、国際経済に及ぼす影響もそれだけあるということになります。

近年、グローバル化という言葉が使われるようになりましたが、これは経済が国境を超えて相互に依存して動くようになった状況を背景としています。しかも、都市圏の経済規模が突出している現代では、国際経済での競争や協力関係には「国対国」に加えて「都市対都市」という面も加わってきます。一国(地域)に匹敵する経済規模がある大阪府は、「世界の中の都市」という自信と責任を自覚する必要があると言えるでしょう。

## 関西8.7パーセント、東京都77.2パーセント：日本における外資系企業の分布

日本における外資系企業の地域別分布状況

地域	企業数(全国に占める割合:%)
関西	289 ( 8.7%)
大阪府	191 ( 5.8%)
兵庫県	77 ( 2.3%)
京都府	10 ( 0.3%)
滋賀県	4 ( 0.1%)
奈良県	3 ( 0.1%)
福井県	3 ( 0.1%)
和歌山県	1 ( 0.0%)
関東	2,891 ( 87.2%)
東京都	2,560 ( 77.2%)
神奈川県	252 ( 7.6%)
中部	69 ( 2.1%)
愛知県	31 ( 0.9%)
全国計	3,315 ( 100.0%)

資料: 東洋経済新報社「'98外資系企業総覧」

では、近畿地方や大阪は、経済の規模に応じた評価がなされているのでしょうか？ 一例として、日本における外資系企業の地域別分布状況を見てみますと、関西地域の外資系企業を合わせても東京都の9分の1しかありません。外資系企業が日本に進出するにあたっての立地条件は海外から見たその地域の評価を表していると言えるでしょう。ちなみに東京都の総生産は、近畿全体とほぼ同じですから、近畿や大阪の外資系企業数は、その経済的規模に比べて際立って少ないことが分かります。

経済的な規模の大きさに加えて、近畿地方や大阪には研究機関が多数存在しています。優れた技術を持つ中小企業が集積している点でも日本有数の地域です。こういった点をもっと国際的に評価されてもよいでしょう。

大阪府でも「国際集客都市」をスローガンの一つとして、その魅力を海外に向けて情報発信しています。今後も、海外からのより良い評価の獲得をめざし、積極的なPRを続けていくことが必要だと言えるでしょう。

水元 雅巳(みずもとまさみ)

1975年生まれのみずがめ座。某大手都市銀行に入学後、「大阪経済の動向に深く関わっている中小企業の実態が知りたい!!」との思いを胸に大阪都市経済調査会へ、「数字のことなら何でもお任せ」の頼れる男だが、実はギャンブラー。好きな言葉は、「臨機応変、出たとこ勝負」。趣味は釣。